



「初めての子育てでちょっと不安。近くにお友達がいないかな？」
 「こんな時どうしたらいいかな？」などの「？」は子育て仲間の中で解決
 できることがたくさんあります。
 地域のお友達づくりに、まずは見学にお越しになりませんか？

【活動している日と時間】



のびっこグループは毎週木曜日 10時半～12時 児童室

ペンギングループは毎週火曜日 10時半～12時 児童室



現在活動している親子子育てグループは、市内に18グループあり、
 中山台コミュニティの地域内では【のびっこさん】【ペンギンさん】
 2グループがコミュニティセンターで活動しています。
 未就園のお子さんのいる保護者が定期的に集まり、自主的に活動しています。児童室での遊びや季節
 のイベントなど、子どもたちもお母さんも楽しく過ごしています。ご興味のある方は見学にお越しに
 なってみてください。 問い合わせ先：宝塚市子ども家庭支援センター0797-85-3862

新型コロナワクチン豆知識mRNA（メッセンジャーRNA）とは

コロナワクチンの接種が進んでいます。ファイザーとかモデルナがそのメーカーなのですが、新しいmRNAという
 技術が使われています。従来のワクチンはウィルスを弱毒化して用いるもの（生ワクチン）とかインフルエンザワ
 クチンのようにウィルスのそのものを不活性化して用いるものでした。
 新型コロナウィルスの表面には突起（スパイク）があり、その先端にスパイクたんぱく質というものがあります。
 これが人の細胞に結合しウィルスが侵入する役目を果たします。mRNAはこのスパイクたんぱく質の遺伝子情報を
 だけを抽出したものです。
 このmRNAワクチンを筋肉注射してmRNAが人の細胞に取り込まれると細胞はこのスパイクたんぱく質だけを複
 写、量産します。そして、この量産されたスパイクたんぱく質を人の免疫が覚えることにより抗体を量産して、本物
 のウィルスの細胞への侵入を防ぎ感染を抑えるのです。ただしこのmRNAは非常に壊れやすいので、ファイザーで
 マイナス70度、モデルナでマイナス20度での保管が必要です。

肌寒い日がふえて
 きましたね。
 近所で秋を
 見つけました。



編集:中山台コミュニティ広報活動部
 発行日:2021年(令和3年)9月18日
 発行責任者:中山台コミュニティ会長 畑中康治
 編集責任者:中山台コミュニティ運営委員長 平原雅明

宝塚市中山台コミュニティセンター
 住所:〒665-0877 宝塚市中山桜台5-15-2
 TEL:0797-89-9605
 URL:http://www.nakayama-comm.jp/



まちづくり計画を
 宝塚市と協働で進める仕組みができました。

仕組みのキーポイントは「対話」と「進捗管理」です

ポイント1 対話

- ・まちづくり計画の中で具体的にどのような事に
 取り組みたいか中山台コミュニティで話し合い
 ながら内容をまとめます。
- ・その内容を「進捗シート」にまとめ市に提出します。
- ・「進捗シート」にまとめた内容を市職員に説明し、
 市との対話をスタートします。
- ・対話の際は「どういう問題で課題は何か？何をするのか？
 役割分担は？」などを中心に話を進めます。
- ・対話の中で確認できた事は市が「対話シート」に記録し
 中山台コミュニティと共有します。
- ・以上の準備の元で具体的な取り組みを実践します。

ポイント2 進捗管理

- ・年度の中間に市と対話してきた事を地域で共有し
 残りの年度中に取り組みを確認します。
- ・年度末頃1年間の活動を振り返り4段階で評価します。
- ・次年度に市と対話を開始したい
 「具体的な取り組み」を決めます。

「対話」と「進捗管理」については市の
 「協働の取り組み推進次長」が助言、支援を行います。
 これで具体的にまちづくり計画を進めてゆく
 スタートラインに立ちました。



見守り会議を開催しました。

見守り会議は中山台コミュニティが主催し、3か月に一回
 （年4回）開催されます。参加者は中山台コミュニティ会長他
 コミュニティ関係者、市役所、社会福祉協議会、花屋敷包括支援センター、
 郵便局、銀行、コープ、クラシなど地域の事業所、福祉施設、NPO、
 自治会長、地域ボランティア、民生児童委員など多彩なメンバーです。
 会議は安全、安心の中山台地区をつくるために見守り、防災、
 特殊詐欺対策など多彩な地域の問題点を話し合い、情報共有し、
 そしてまちづくり計画に反映させてゆきます。

